

(様式 1)

## 地域間幹線系統別確保維持計画

2019 年 5 月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

## 1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系 統 名 : 須坂屋島線  
 運 行 区 間 : 長野駅 ~ 井上 ~ 須坂駅  
 計 画 期 間 : 2019 年 10 月 1 日 ~ 2022 年 9 月 30 日

## 2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性 (生活交通路線である理由・路線の状況)

- (1) 須坂市住民の通勤者の利用のため  
 (2) 須坂市住民の方の長野市への商業施設等への利用のため

## 3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

## (1) 運行の目標

生活交通利用者に対する継続的な運行を提供するため利用者数及びニーズに即した運行形態を模索し、輸送量及び収入の目標達成を図る。  
 効率的な運行方法と利便性の両立を目指し、持続可能な交通体系を確立する。

<定量的な目標> 2020 年度輸送量目標値 : 21.2

## (2) 運行による効果

長野市内や須坂市内への移動手段を確保維持することにより、移動制約者の日常生活を支え、特に高齢者を中心とした生活環境等の維持が図れる。

## 4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

須坂市地域公共交通会議・長電バスが主体となり、IC カードの利用促進を進め利用者の利便向上を図る。

## 5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
2019.10~ 2020.9	5,980,297 円	2,135,500 円	2,135,500 円	1,709,297 円	
2020.10~ 2021.9	5,974,491 円	2,133,500 円	2,133,500 円	1,707,491 円	

2021.10～ 2022.9	5,968,724円	2,131,500円	2,131,500円	1,725,724円	
--------------------	------------	------------	------------	------------	--

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

## 6. 収益改善のために行った取組状況

- (1) 地域キロ当たり費用単価を大きく下回るキロ単価による費用改善
- (2) 須坂市内路線再編に伴う経路変更を行い、利便性向上を図る
- (3) 2014年7月、路線バス全線運賃改定による収益改善
- (4) 2012年10月導入長野市路線バスICカードシステム導入に伴う交通サービスの利便性向上
- (5) 収支均衡を実施するため、自治体補助金による補填実施

## 7. 生産性を向上する取組

### (1) 取組内容

- ・ICカードの普及促進の広報を図り、バス利用を促す
- ・運転免許自主返納高齢者支援事業への協賛

### (2) 実施主体

須坂市地域公共交通会議  
長電バス株式会社

### (3) 定量的な効果目標

上記取組を実施することにより収支率、対前年1%以上の増加を目標とする

### (4) 実施に向けたスケジュール

2019年10月～ 計画策定に向け随時協議を行う

### (5) 実施時期

未定

### (6) その他特記事項

利用者数及び沿線住民のニーズに即した運行形態の検討

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について

【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表3に定める広域行政圏以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野市大字村山 471-1

(所 属) 乗合バス課

(氏 名) 武田 雄一

(電 話) 026-295-8008

(F A X) 026-295-8060

(e-mail) [rosenbus@nagadenbus.co.jp](mailto:rosenbus@nagadenbus.co.jp)

地域間幹線系統に係る市町村等の協議状況

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

1. 幹線系統名、区間及び計画期間	
系 統 名	: 屋島線
運 行 区 間	: 長野駅 ~ 井上 ~ 須坂駅
計 画 期 間	: 2019年10月1日~2022年9月30日
2. 協議会等の開催状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野市公共交通活性化・再生協議会 2019年5月28日</li> <li>・須坂市地域公共交通会議 2019年5月 日(予定)</li> </ul>	
3. 協議会等における主な議論	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野市及び須坂市の協議において、事業内容について協議し、計画全体について合意(予定)</li> </ul>	
4. 利用者等の意見の反映	
ICカードの利用促進を図って頂きたい。 高齢者免許返納制度の周知を図って頂きたい。	
5. 協議会等による利用促進等の取組	
ICカード導入に伴い普及促進の広報をし、バス利用を促す 運転免許自主返納高齢者支援事業への協賛	
6. 前期の利用促進等の取組の振り返り	
バス停間の時刻見直しを実施した。 国・県補助後の損失額については沿線自治体による補填を受けた。	
7. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	長野県長野地域振興局
関係市区町村	須坂市市民環境部市民課 長野市都市整備部交通政策課
交通事業者・交通施設管理者等	長電バス 須坂建設事務所 長野建設事務所 長野国道事務所 須坂警察署 長野中央警察署
地方運輸局	長野運輸支局
その他協議会が必要と認める者	福島大学准教授、信州大学教授、長野工業高等専門学校教授 須坂商工会議所、長野商工会議所 利用者代表(区長会・老人クラブ・PTA・保育園保護者等)

## 地域間幹線系統別確保維持計画

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

## 1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系統名 : 牟礼線  
 運行区間 : 長野駅 ~ 本郷駅 ~ 牟礼  
 計画期間 : 2019年10月1日~2022年9月30日

## 2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性（生活交通路線である理由・路線の状況）

- (1) 長野市、飯綱町のバス路線沿線住民を中心とした通勤・通学者の利用のための移動手段
- (2) 長野市、飯綱町のバス路線沿線住民を中心とした長野市内地への商業施設等への利用のための移動手段
- (3) 長野市、飯綱町のバス路線沿線住民を中心とした長野市内の総合病院等の医療機関への通院のための移動手段
- (4) 飯綱町内において中学校への通学利用のため

## 3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

## (1) 運行の目標

生活交通利用者に対する継続的な運行を提供するため利用者数及びニーズに即した運行形態を模索し、輸送量及び収入の目標達成を図る。  
 効率的な運行方法と利便性の両立を目指し、持続可能な交通体系を確立する。  
 <定量的な目標> 2020年度輸送量目標値 : 27.8

## (2) 運行による効果

長野市内や牟礼駅への移動手段を確保維持することにより、移動制約者の日常生活を支え、特に高齢者を中心とした生活環境等の維持が図れるとともに、過疎化の進む中山間地域における活性化につながることも期待される。

## 4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

飯綱町協議会・長電バスが主体となり、列車との接続を見直し利便性向上を図る。

## 5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
2019.10~ 2020.9	19,340,479円	5,557,500円	5,557,500円	8,225,479円	0円

2020.10～ 2021.9	19,364,538 円	5,501,000 円	5,501,000 円	8,362,538 円	0 円
2021.10～ 2022.9	19,322,435 円	5,489,000 円	5,489,000 円	8,344,435 円	0 円

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

## 6. 収益改善のために行った取組状況

- (1) 地域キロ当たり費用単価を大きく下回るキロ単価による費用改善
- (2) 2014年7月 路線バス全線運賃改定による収益改善
- (3) 2018年10月 長野市路線バスICカードシステム導入に伴う交通サービスの利便性向上
- (4) 収支均衡を実施するため、自治体補助金による補填実施

## 7. 生産性を向上する取組

### (1) 取組内容

ICカードの普及促進を図り、バス利用を促す

### (2) 実施主体

飯綱町協議会  
長電バス株式会社

### (3) 定量的な効果目標

上記取組を実施することにより収支率、対前年1%以上の増加を目標とする

### (4) 実施に向けたスケジュール

2019年10月～ 計画策定に向け随時協議を行う

### (5) 実施時期

未定

### (6) その他特記事項

牟礼線の補助対象外系統において、貨客混載事業を2017年10月1日から実施

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について

【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表3に定める広域行政圏以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野市大字村山 471-1

(所 属) 乗合バス課

(氏 名) 武田 雄一

(電 話) 026-295-8008

(F A X) 026-295-8060

(e-mail) [rosenbus@nagadenbus.co.jp](mailto:rosenbus@nagadenbus.co.jp)

地域間幹線系統に係る市町村等の協議状況

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

1. 幹線系統名、区間及び計画期間	
系 統 名	: 牟礼線
運 行 区 間	: 長野駅 ~ 本郷駅 ~ 牟礼
計 画 期 間	: 2019年10月1日~2022年9月30日
2. 協議会等の開催状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野市公共交通活性化・再生協議会 2019年5月28日</li> <li>・飯綱町協議会 後日開催予定</li> </ul>	
3. 協議会等における主な議論	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・2019年5月28日に長野市及び後日開催予定の飯綱町協議会において、事業内容について協議し、計画全体について合意予定</li> </ul>	
4. 利用者等の意見の反映	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ICカードの利用促進を図って頂きたい</li> <li>高齢者免許返納制度の周知を頂きたい</li> </ul>	
5. 協議会等による利用促進等の取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>ICカード導入に伴う普及促進の広報を図り、バス利用を促す</li> </ul>	
6. 前期の利用促進等の取組の振り返り	
<ul style="list-style-type: none"> <li>国・県補助後の損失額については沿線自治体による補填を受けた。</li> <li>バスの乗り方教室の開催により、身近な乗り物としての浸透を図った。</li> </ul>	
7. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	長野県長野地域振興局
関係市区町村	長野市都市整備部交通政策課、飯綱町企画財政課
交通事業者・交通施設管理者等	長電バス 長野電鉄 アルピコ交通 JR 東日本 しなの鉄道 長野県タクシー協会 長野県バス協会 長野市監理課 長野国道事務所 長野建設事務所 長野中央警察署 長野南警察署
地方運輸局	長野運輸支局
その他協議会が必要と認める者	信州大学教授、長野工業高等専門学校教授、長野商工会議所 利用者代表（区長会・老人クラブ・PTA・保育園保護者等）



## 地域間幹線系統車両取得計画（公有民営用）

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

## 1. 新規車両の導入を予定する幹線系統名、区間及び導入予定年月

系 統 名 : 牟礼線  
 運 行 区 間 : 長野駅 ~ 本郷駅 ~ 牟礼  
 導入予定年月 : 2020年9月

## 2. 車両の取得に係る目的・必要性

生活交通路線を運行している車両の老朽化に対応するため、新たに車両を代替し車両経費の軽減と事業収益の改善を図るとともに、生活路線の運行維持ならびに利用者へのサービス向上を図る。

## 3. 車両の取得に係る定量的な目標及び効果

## (1) 新規車両導入に係る目標

老朽化した車両との代替により、燃料費等の経費の軽減を図る。  
 運行車両燃費：3.5キロメートル/L → 4.0キロメートル/L

## (2) 新規車両導入に係る効果

新車を導入することで、燃料費等の経費を削減し、事業の収支改善が図られる他、地球温暖化対策に貢献できる。

## 4. 入替予定車両の状況

メーカー：日野  
 乗車定員：57人  
 登録番号：長野200か1037  
 登録年度（車令）：平成9年  
 修繕費（前年度実績）：約1,500千円

## 5. 新規導入車両を活用した利用促進策

- ・沿線市町村の協議会を活用しダイヤの見直し等の検討
- ・新車導入により利用者の利便性・快適性の向上

## 【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野市大字村山 471-1

(所 属) 乗合バス課

(氏 名) 武田 雄一

(電 話) 026-295-8008

(F A X) 026-295-8060

(e-mail) [rosenbus@nagadenbus.co.jp](mailto:rosenbus@nagadenbus.co.jp)

地域間幹線系統車両取得に係る市町村等の協議状況

1. 新規車両の導入を予定する幹線系統名、区間及び導入予定年月

系 統 名 : 牟礼線  
 運 行 区 間 : 長野駅 ~ 本郷駅 ~ 牟礼  
 導入予定年月 : 2020年9月

2. 協議会等の開催状況

2019年5月28日に長野市、2019年6月 飯綱町協議会（予定）

3. 協議会等における主な議論

2019年5月28日に長野市及び2019年6月開催予定の飯綱町協議会において、事業内容について協議し、計画全体について合意（予定）

4. 利用者等の意見の反映

高齢者でも乗降しやすいバスの導入のため、ノンステップバスを選定した

5. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	長野県長野地域振興局
関係市区町村	長野市都市整備部交通政策課、飯綱町企画財政課
交通事業者・交通施設管理者等	長電バス 長野電鉄 アルピコ交通 JR 東日本 しなの鉄道 長野県タクシー協会 長野県バス協会 長野市監理課 長野国道事務所 長野建設事務所 長野中央警察署
地方運輸局	長野運輸支局
その他協議会が必要と認める者	信州大学教授、長野工業高等専門学校教授、長野商工会議所 利用者代表（区長会・老人クラブ・PTA・保育園保護者等）

## 地域間幹線系統別確保維持計画

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

## 1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系 統 名 : 屋代須坂線  
 運 行 区 間 : 須坂駅 ~ 松代駅・雨宮北町 ~ 屋代駅  
 計 画 期 間 : 2019年10月1日~2022年9月30日

## 2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性（生活交通路線である理由・路線の状況）

- (1) 長野市、須坂市、千曲市のバス路線沿線住民を中心とした通勤・通学者の利用のための移動手段
- (2) 長野市、須坂市、千曲市のバス路線沿線住民を中心とした沿線商業施設等への利用のための移動手段
- (3) 長野市、須坂市、千曲市のバス路線沿線住民を中心とした長野市内・須坂市内・千曲市内の総合病院等の医療機関への通院のための移動手段

## 3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

## (1) 運行の目標

生活交通利用者に対する継続的な運行の提供と利用者ニーズに即したバス運行により、輸送量及び収入の目標達成を図る。

運行の効率化と利便性の両立を目指し、持続可能な交通体系を確立する。

<定量的な目標> 2020年度輸送量目標値 : 19.2

## (2) 運行による効果

長野電鉄屋代線廃線に伴い、2012年4月1日より電車からバスへ移行するという大きな輸送形態の変更を実施し、長野市内、須坂市内及び千曲市内への移動手段を確保することにより移動制約者の日常生活を支え、特に通院される高齢者の生活環境等を維持することが図れる。今後は沿線地域の活性化につながることも期待される。

## 4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

長野市・須坂市・千曲市地域公共交通会議が主体となり、通勤・通学の需要取り込みを行うと共に、将来の利用者となりうる小学生に向けて「バスの乗り方教室」講習を実施する。

## 5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
2019.10~ 2020.9	40,124,506円	4,708,000円	4,708,000円	30,708,506円	

2020.10～ 2021.9	40,014,876 円	4,695,000 円	4,695,000 円	30,624,876 円	
2021.10～ 2022.9	40,014,876 円	4,695,000 円	4,695,000 円	30,624,876 円	

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

## 6. 収益改善のために行った取組状況

- (1) 2012年10月導入、長野市路線バスICカードシステム導入に伴う交通サービスの利便性向上
- (2) 車いす乗降停留所、乗降可能便を設定して交通サービスの利便性の向上を行った。
- (3) 若穂病院停留所を新設し安全面、利便性に配慮した運行経路の変更を行った。

## 7. 生産性を向上する取組

### (1) 取組内容

- ・通勤・通学の需要取り込みを行うと共に、将来の利用者となりうる小学生に向けて「バスの乗り方教室」講習を実施する
- ・減便を実施し、費用削減を図る。

### (2) 実施主体

長野市公共交通活性化再生協議会・須坂市地域公共交通会議・千曲市地域公共交通会議

### (3) 定量的な効果目標

上記取組を実施することにより収支率、対前年1%以上の増加を目標とする

### (4) 実施に向けたスケジュール

計画策定に向け随時協議を行う

### (5) 実施時期

2019年10月1日に減便を実施予定

### (6) その他特記事項

- ・速達性を向上させるため、土口地区・大室地区についてバイパス経路をメインとする。

8. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について

【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表3に定める広域行政圏以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野市大字村山 471-1

(所 属) 乗合バス課

(氏 名) 武田 雄一

(電 話) 026-295-8008

(F A X) 026-295-8060

(e-mail) [rosenbus@nagadenbus.co.jp](mailto:rosenbus@nagadenbus.co.jp)

# 地域間幹線系統に係る市町村等の協議状況

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

1. 幹線系統名、区間及び計画期間	
系 統 名	: 屋代須坂線
運 行 区 間	: 須坂駅 ~ 松代駅・雨宮北町 ~ 屋代駅
計 画 期 間	: 2019年10月1日~2022年9月30日
2. 協議会等の開催状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野市公共交通活性化・再生協議会 2019年5月28日</li> <li>・須坂市地域公共交通会議 2019年6月(予定)</li> <li>・千曲市地域公共交通会議 2019年6月(予定)</li> </ul>	
3. 協議会等における主な議論	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野市、須坂市、千曲市協議において、事業内容について協議し計画全体について合意(予定)</li> </ul>	
4. 利用者等の意見の反映	
ダイヤ改正時に配布用時刻表を作成してほしい。	
5. 協議会等による利用促進等の取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの乗り方教室の実施</li> <li>・利用者ニーズに即した運行時刻の見直しを図る</li> </ul>	
6. 前期の利用促進等の取組の振り返り	
地元小学校においてバスの乗り方教室を実施し、バス利用への垣根を低くした。	
7. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	長野県長野地域振興局
関係市区町村	長野市都市整備部交通政策課 須坂市市民環境部市民課 千曲市生活安全課
交通事業者・交通施設管理者等	長電バス 長野建設事務所 長野中央警察署 長野南警察署 須坂建設事務所 須坂警察署 千曲建設事務所 千曲警察署
地方運輸局	長野運輸支局
その他協議会が必要と認める者	福島大学准教授、信州大学教授、長野工業高等専門学校教授 須坂商工会議所 長野商工会議所 千曲商工会議所 利用者代表(区長会・老人クラブ・PTA・保育園保護者等)

## 地域間幹線系統別確保維持計画

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

## 1. 幹線系統名、区間及び計画期間

系 統 名 : 屋代須坂線  
 運 行 区 間 : 須坂駅 ~ 松代駅  
 計 画 期 間 : 2019年10月1日~2022年9月30日

## 2. 幹線系統の運行に係る目的・必要性（生活交通路線である理由・路線の状況）

- (1) 長野市、須坂市のバス路線沿線住民を中心とした通勤・通学者の利用のための移動手段
- (2) 長野市、須坂市のバス路線沿線住民を中心とした沿線商業施設等への利用のための移動手段
- (3) 長野市、須坂市のバス路線沿線住民を中心とした長野市内・須坂市内の総合病院等の医療機関への通院のための移動手段

## 3. 幹線系統の運行に係る定量的な目標及び効果

## (1) 運行の目標

生活交通利用者に対する継続的な運行の提供と利用者ニーズに即したバス運行により、輸送量及び収入の目標達成を図る。

運行の効率化と利便性の両立を目指し、持続可能な交通体系を確立する。

<定量的な目標> 2020年度輸送量目標値 : 18.7

## (2) 運行による効果

長野電鉄屋代線廃線に伴い、2012年4月1日より電車からバスへ移行するという大きな輸送形態の変更を実施し、長野市内、須坂市内への移動手段を確保することにより移動制約者の日常生活を支え、特に通院される高齢者の生活環境等を維持することが図れる。今後は沿線地域の活性化につながることも期待される。

## 4. 3の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

長野市・須坂市地域公共交通会議が主体となり、通勤・通学の需要取り込みを行うと共に、将来の利用者となりうる小学生に向けて「バスの乗り方教室」講習を実施する。

## 5. 費用負担額

補助対象期間	欠損見込額※	負担額			
		国	県	市町村	事業者
2019.10~ 2020.9	16,487,018円	3,104,500円	3,104,500円	10,278,016円	

2020.10～ 2021.9	16,441,971 円	3,096,000 円	3,096,000 円	10,249,971 円	
2021.10～ 2022.9	16,441,971 円	3,096,000 円	3,096,000 円	10,249,971 円	

※欠損見込額とは、補助対象経常費用の見込額から経常収益の見込額を控除した額

## 6. 収益改善のために行った取組状況

- (1) 2012年10月導入、長野市路線バスICカードシステム導入に伴う交通サービスの利便性向上
- (2) 車いす乗降停留所、乗降可能便を設定して交通サービスの利便性の向上を行った。
- (3) 若穂病院停留所を新設し、安全面・利便性に配慮した運行経路の変更を行った。

## 7. 生産性を向上する取組

### (1) 取組内容

- ・通勤・通学の需要取り込みを行うと共に、将来の利用者となりうる小学生に向けて「バスの乗り方教室」講習を実施する
- ・減便を実施し、費用削減を図る。

### (2) 実施主体

長野市公共交通活性化再生協議会・須坂市地域公共交通会議

### (3) 定量的な効果目標

上記取組を実施することにより収支率、対前年1%以上の増加を目標とする

### (4) 実施に向けたスケジュール

計画策定に向け随時協議を行う

### (5) 実施時期

2019年10月1日に減便を実施予定

### (6) その他特記事項

- ・速達性を向上させるため、大室地区についてバイパス経路をメインとする。



7. 広域行政圏の中心市町村に準ずる市町村であるという相当の理由について

【地域公共交通確保維持改善事業補助金交付要綱別表3に定める広域行政圏以外へアクセスする路線の場合に記入】

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野市大字村山 471-1

(所 属) 乗合バス課

(氏 名) 武田 雄一

(電 話) 026-295-8008

(F A X) 026-295-8060

(e-mail) [rosenbus@nagadenbus.co.jp](mailto:rosenbus@nagadenbus.co.jp)

地域間幹線系統に係る市町村等の協議状況

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

1. 幹線系統名、区間及び計画期間	
系 統 名	: 屋代須坂線
運 行 区 間	: 須坂駅 ~ 松代駅
計 画 期 間	: 2019年10月1日~2022年9月30日
2. 協議会等の開催状況	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野市公共交通活性化・再生協議会 2019年5月28日</li> <li>・須坂市地域公共交通会議 2019年6月(予定)</li> </ul>	
3. 協議会等における主な議論	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長野市及び須坂市において、事業内容について協議し、計画全体について合意(予定)</li> </ul>	
4. 利用者等の意見の反映	
ダイヤ改正時に配布用時刻表を作成してほしい。	
5. 協議会等による利用促進等の取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの乗り方教室の実施</li> <li>・利用者ニーズに即した運行時刻の見直しを図る</li> </ul>	
6. 前期の利用促進等の取組の振り返り	
地元小学校においてバスの乗り方教室を実施し、バス利用への垣根を低くした。	
7. 協議会メンバーの構成員	
関係都道府県	長野県長野地域振興局
関係市区町村	長野市都市整備部交通政策課 須坂市市民環境部市民課
交通事業者・交通施設管理者等	長電バス 長野建設事務所 長野中央警察署 長野南警察署 須坂建設事務所 須坂警察署 千曲建設事務所 千曲警察署
地方運輸局	長野運輸支局
その他協議会が必要と認める者	福島大学准教授 信州大学教授 長野工業高等専門学校教授 須坂商工会議所 長野商工会議所 千曲商工会議所 利用者代表(区長会・老人クラブ・PTA・保育園保護者等)

## 地域間幹線系統車両取得計画

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

## 1. 新規車両の導入を予定する幹線系統名、区間及び導入予定年月

系 統 名 : 屋代須坂線  
 運 行 区 間 : 須坂駅 ~ 松代駅・雨宮東 ~ 屋代駅  
 導入予定年月 : 2020年9月

## 2. 車両の取得に係る目的・必要性

生活交通路線を運行している車両の老朽化に対応するため、新たに車両を代替し車両経費の軽減と事業収支の改善を図るとともに、生活交通路線の運行維持ならびに、沿線利用者へのサービス向上を図る。

## 3. 車両の取得に係る定量的な目標及び効果

## (1) 新規車両導入に係る目標

現在、屋代須坂線を運行している老朽化した車両との代替により、燃料費等の経費の軽減を目標とする。<※定量的な目標>

現在の運行車両燃費 : 約 1ℓ / 2.5<sup>キロ</sup> → 約 1ℓ / 3.5<sup>キロ</sup>

## (2) 新規車両導入に係る効果

屋代須坂線を維持することにより、沿線の利用者の日常生活に必要な移動手段が確保され、過疎化の進む地域において地域の活性化にもつながることが期待される。燃費改善を行うことにより、車両経費の軽減と事業収支の改善を図り、さらなる利用者へのサービス向上へとつながる。

## 4. 車両の取得の概要

車両取得台数	1台
車両購入予定費	28,550,000円

## 5. 費用負担額 (車両減価償却費+金融費用)

	国	県	その他	事業者
初年度	125,000円	125,000円	0円	225,833円
2年目	1,500,000円	1,500,000円	0円	2,710,000円
3年目	1,500,000円	1,500,000円	0円	2,710,000円
4年目	1,500,000円	1,500,000円	0円	2,710,000円
5年目	1,500,000円	1,500,000円	0円	2,710,000円
6年目	1,375,000円	1,375,000円	0円	2,484,167円
合計	7,500,000円	7,500,000円	0円	13,550,000円

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 長野市大字村山 471-1

(所 属) 乗合バス課

(氏 名) 武田 雄一

(電 話) 026-295-8008

(F A X) 026-295-8060

(e-mail) [rosenbus@nagadenbus.co.jp](mailto:rosenbus@nagadenbus.co.jp)

地域間幹線系統車両取得に係る市町村等の協議状況

2019年5月 日

(住所) 長野市大字村山 471-1  
 (名称) 長電バス株式会社  
 (代表者名) 代表取締役社長 湯本 卓邦

1. 新規車両の導入を予定する幹線系統名、区間及び導入予定年月

系 統 名 : 屋代須坂線  
 運 行 区 間 : 須坂駅 ~ 松代駅・雨宮東 ~ 屋代駅  
 導入予定年月 : 2020年9月

2. 協議会等の開催状況

- ・長野市公共交通活性化・再生協議会 2019年5月28日
- ・須坂市地域公共交通会議 2019年6月(予定)
- ・千曲市地域公共交通会議 2019年6月(予定)

3. 協議会等における主な議論

- ・長野市及び須坂市、千曲市協議において、事業内容について協議し計画全体について合意(予定)

4. 利用者等の意見の反映

ご高齢の方でも乗降しやすいバスの導入のため、ノンステップバスを選定した

5. 協議会メンバーの構成員

関係都道府県	長野県長野地域振興局
関係市区町村	長野市都市整備部交通政策課 須坂市市民環境部市民課 千曲市生活安全課
交通事業者・交通施設管理者等	長電バス 長野建設事務所 長野中央警察署 長野南警察署 須坂建設事務所 須坂警察署 千曲建設事務所 千曲警察署
地方運輸局	長野運輸支局
その他協議会が必要と認める者	福島大学准教授、信州大学教授、長野工業高等専門学校教授 須坂商工会議所 長野商工会議所 千曲商工会議所 利用者代表(区長会・老人クラブ・PTA・保育園保護者等)